

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	政策調整会議	
開 催 日 時	令和4年8月2日（火） 午前8時55分～9時48分	
開 催 場 所	朝霞市役所 別館3階 市長公室	
出 席 者	<p>宮村市長公室長、毛利危機管理監、須田総務部長、 清水市民環境部長、佐藤福祉部長、麦田こども・健康部長、 山崎都市建設部長、宇野審議監兼まちづくり推進課長、 村山会計管理者、益田上下水道部長、太田議会事務局長、 野口学校教育部長、神頭生涯学習部長、 斎藤監査委員事務局長 （担当課1）</p> <p>関口市長公室次長兼政策企画課長、平間同課長補佐、 福田同課政策企画係長、江原同課同係主任 （担当課2）</p> <p>奥山学校教育部長兼教育総務課長、大塚同課長補佐、 佐賀同課学校施設係長 （事務局）</p> <p>関口市長公室次長兼政策企画課長、平間同課長補佐、 福田同課政策企画係長、江原同課同係主任</p>	
会 議 内 容	<p>1 令和4年度朝霞市行政評価（内部評価）結果報告書（案）</p> <p>2 朝霞第六小学校校舎増築工事基本設計（案）</p>	
会 議 資 料	<p>【議事1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市行政評価（内部評価）結果報告書（案）</li> </ul> <p>【議事2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞第六小学校校舎増築工事基本設計（案）の概要</li> <li>・朝霞第六小学校校舎増築工事基本設計（案）</li> </ul>	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	■要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした 場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
<p>会議録の確認方法</p> <p>出席者の確認及び事務局の決裁</p>		

その他の 必要事項	
--------------	--

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【議題】

1 令和4年度朝霞市行政評価（内部評価）結果報告書（案）について

【説明】

（担当課1：福田政策企画課政策企画係長）

行政評価結果報告書について説明させていただく。

報告書の構成は、Ⅰで行政評価制度の概要を示すとともに、Ⅱでは令和3年度に実施した施策について、施策評価シートをもとに行政評価を行った結果を、Ⅲでは結果の活用と制度の改善について、記載している。

1ページから4ページにかけて、行政評価の定義や目的、行政評価制度の概要を記載している。

後期基本計画が令和3年度から開始することから、今回の内部評価から、後期基本計画の施策体系にあわせた評価を行っている。

次に、5ページ「1 施策評価結果の集計」の「(1) 評価の概要」であるが、各所管課で評価いただいた施策が、79施策あり、この79施策については、29、30ページに記載をしている。

前期基本計画では、82あった施策だが、後期基本計画にあわせて見直しを行い、79になっている。

79施策の評価については、「一覧」の中柱ごとの評価となっており、この中柱ごとに施策評価シートを作成いただいている。

昨年度までは、年度目標に対する施策の達成度と、施策の必要性の2項目を評価していたが、後期基本計画からは、令和7年の後期基本計画終了時点での目標に対する進捗度と、必要性の2項目を評価する形に変更した。

各評価は4段階で、数字が大きいものほど、進捗が良く、必要性が高いという評価になる。

5ページに戻り、「(2) 施策の分析」について。

79の施策すべてについて、各所管課で評価を行ったものの傾向を分析している。

なお、先ほど説明したように、昨年度までは5段階評価であったものを、施策評価シートの様式見直しに伴い、今年度から4段階評価に変更している。

①進捗度については、79施策のうち、68施策が、4の「極めて順調」または3の「おおむね順調」の評価で、11施策が、2の「やや遅れている」の評価であった。

なお、達成度から進捗度に代わったこと、5段階から4段階に代わったことという変更点があることから、同一での比較はできないが、昨年度は達成度について十分に成果があらなかったという施策が23あった。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの中止や、施設の休館などがあったため、今年度の評価では少し上向きになっている。

また、②必要性については、79施策のうち19施策が、4の「社会的なニーズは増加

傾向にある」、60施策が3の「社会的なニーズは現状と変わらない」の評価で、2や1の評価はなかった。

これらを基にした、③進捗度と必要性のクロス分析については、必要性が4、進捗度が2の施策が5つあった。

その施策については、下に記載している。

この5つの施策の詳細を説明させていただくと、122の「消費者の自立支援の充実」については、進捗として、指標の消費生活相談件数が、昨年度より減少しており、目標までやや遅れていること。

必要性として、成年年齢が18歳に引き下げられ、消費者トラブルの増加が懸念されるため、消費生活相談の必要性は高いと判断したものである。

次の412「低炭素・循環型社会の推進」については、進捗として、指標の市事務事業のCO2排出量について、個別計画で定めた令和3年までの削減目標を達成することができなかったこと。

必要性として、国が2050年のカーボンニュートラル実現に向け動き出しており、市でも2030年にCO2排出量46%削減を目指すこととなったため、今後も再生可能エネルギーの普及や、地球温暖化対策事業等のニーズは高いと判断したものである。

次の431「コミュニティ活動の推進」については、進捗として、指標の自治会・町内会加入率の低下が続いており、目標までやや遅れていること。

必要性として、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症により、人や地域とのつながりの重要性が増しているため、必要性が高いと判断したものである。

次の441「市民活動への支援」については、進捗として、指標のNPO法人数が、昨年度より微増見込みではあるが、目標までやや遅れていること。

必要性として、地域の課題解決に向けて、市民活動団体の役割は増加するため、支援の必要性は今後も高いと判断したものである。

次の442「市民活動環境の充実」については、進捗として、指標の利用団体数について、昨年度より増加したものの、令和7年の目標に向けてはやや遅れていること。

必要性として、地域の課題解決に向けて、市民活動団体の役割は増加するため、支援の必要性は今後も高いと判断したものである。

次に、7ページ「2 行政評価結果～政策分野ごとのまとめ」として、次の8ページから26ページにかけては、6つの政策分野に区分し、大柱ごとの進捗度をグラフに表すとともに、成果や課題などについて、記載している。

この内容については、施策評価シートをもとに、所管課・所管部で内容を作成いただいたものである。

なお、大柱は合計30本となっている。

27ページは、行政評価結果の活用と改善について記載している。

令和3年度から後期基本計画が開始することから、後期基本計画に沿った施策及び事務事業の見直しと合わせ、行政評価制度の改善に関する取組として、行政評価シートの様式を抜本的に見直した。

具体的には、総合計画とまちひとしごと創生総合戦略を一体的に評価できるよう、関連

する施策において指標の統合を行ったほか、次年度の改善に生かすという観点から掲載項目を全体的に見直した。

28～32ページには、参考資料として、要綱、施策一覧、施策評価シートを掲載している。

報告書については、本日の政策調整会議でいただいた意見等を反映させたものを、次の庁議で審議いただき報告書として確定させるとともに、9月議会前には市議会へも配布をさせていただく。

説明は以上である。

#### 【意見等】

(須田総務部長)

27ページ「2 行政評価制度の改善」の説明の中で、「行政評価制度には多くの課題が残されています。わかりやすい指標の設定などはその一例です。」とあるが、指標については、第5次総合計画の後期計画を策定した際に見直しを行っているため、他の課題を示してはどうか。

(担当課1：平間政策課長補佐)

指摘のとおりと考える。外部評価委員会において、アウトカム、アウトプットについて指摘いただいているため、今後、その点についてなどを記載させていただく。

(須田総務部長)

6ページに示されている、ニーズは高いが進捗が遅れている5つの事業についてだが、8ページ以降に記載された取組状況を見ると、充分に取り組んでいるものもあるように見受けられるがいかかがか。

(清水市民環境部長)

市民活動については、コロナの影響から活動が制限される部分があることなどにより、目標を達成できていないため、このような自己評価としている。

決して、取組を怠っているというわけではなく、むしろ重点的に取り組んでいる。

(宇野審議監兼まちづくり推進課長)

6ページに、掲載された5つの施策については、重点的に取り組むことを検討する必要があると記載されているが、すでに重点的に取り組んでいるとのことなので、この一文は不要なのは。

(担当課1：関口市長公室次長兼政策企画課長)

この一文については、削除させていただく。

## 【結果】

指摘のあった内容について一部修正し、庁議に諮ることとする。

## 【議題】

### 2 朝霞第六小学校校舎増築工事基本設計（案）

## 【説明】

（担当課2：奥山学校教育課次長兼教育総務課長）

第六小学校校舎増築工事の基本設計について、説明させていただく。

「1 建設概要」については、少人数学級への対応から令和7年度に普通教室の不足が見込まれる第六小学校に新たに校舎を増築し、普通教室8室、多目的室1室を整備するものである。

次に「2 建物概要」だが、増築校舎の建設場所については、敷地の南側、市民会館に隣接する形としている。

建物の構造については、鉄筋コンクリート造、地上4階建て、建築面積は625.11平方メートル、延床面積は2,002.80平方メートル、建物の高さは15.64メートルとし、既存校舎とは2階・3階・4階を渡り廊下で結ぶ構造としている。

また、災害時における大型緊急車両がグラウンド側へ進入できるよう、増築校舎の東側、市民会館駐車場に開口部5メートルの進入口を設置する。

続いて、「3 施設の概要」について、1階部分だが、正門から増築校舎の西側出入口には荒天時に雨除けとして活用できるスペースとして、ピロティを設けている。

1階校舎の校庭側に児童昇降口を設け、その他、車いす対応トイレ、エレベーター、体育倉庫・石灰庫を配置する。

こちらの体育倉庫については、校舎の増築工事に伴い既存の体育倉庫を解体するため、その代替として設置する。

2階については、普通教室2クラス、児童用トイレ・車いす対応トイレ、多目的室、図書準備室、手洗い場、渡り廊下を配置している。

なお、普通教室の面積は既存校舎の60平方メートルから、68平方メートルに広げ、廊下との間仕切りは可動式とし、様々な授業スタイルに対応できる仕様としている。

多目的室については、学年集会や複数のクラスでの授業など、フレキシブルに子ども達が集まれるスペースとしての活用を予定している。

3・4階平面図については、普通教室3クラス、児童用トイレ・車いす対応トイレ、準備室、手洗い場、渡り廊下を配置している。

増築校舎の屋上は、地球環境への配慮として、太陽光発電設備を設置し、校舎内で使用する電気量のうち、エアコンやエレベーターを除き、教室内の照明やコンセントの6割程度を賄い、エネルギー消費の抑制に努める。

このほか、関連工事として、既存校舎の給食配膳用エレベーターの改修、車いす使用者用駐車場の整備、受変電設備の撤去・新設、受水槽の増設に加え、校庭に設置した遊具類

等の撤去・新設などを行う。

続いて、「4今後の主なスケジュール（予定）」だが、設計業務を令和5年3月までに完了させ、その後、建設工事の入札を令和5年4月に行い、6月の議会に工事請負契約締結に係る議案を提出したうえで、令和5年7月から工事に着手し、令和6年12月から増築校舎の供用開始を予定している。

次に、事業予算については、設計委託料が48,605,700円、増築校舎の工事費は、現時点での概算で1,402,071,000円、工事監理委託料が21,670,000円を見込んでいる。

今回の事業予算の財源として、国庫補助金及び地方債の申請も併せて行う。

最後に、増築校舎の完成イメージとして、「資料2基本設計図書」の9ページ・10ページに建物の立面図及び外観パースの資料を添付している。

説明は以上である。

#### 【意見等】

(麦田こども・健康部長)

工事期間中は、放課後児童クラブにどのような影響があるか。

また、夏休み期間中のグラウンド利用について制限はあるのか。

(担当課2：大塚教育総務課長補佐)

クラブへの登室だが、2か所あるうちの平屋建てのクラブについては、工事期間中も現在と同様に校舎からグラウンドを通過して行くことができると考えている。

また、2階建てのクラブについてだが、工事期間中は正門が使えなくなるため、登下校用の出入り口として校舎裏の通用口を改修するので、その通用口から登室をお願いしたいと考えている。

夏休み期間中のグラウンドの制限については、今後、工事の仮設計画案を作成する際に保育課と調整していきたいと考えている。

(宇野審議監兼まちづくり推進課長)

太陽光パネルを設置する根拠はあるか。

また、耐用年数やどのくらいの期間で元が取れるのか。

(清水市民環境部長)

設置の根拠についてだが、地球温暖化対策実行計画の中で、公共施設の新設や大規模改修などにあわせて導入を進めていくものと位置付けられており、LED照明などの省エネルギー設備の導入の推進もうたわれている。

(担当課 2 : 佐賀教育総務課学校施設係長)

耐用年数やコスト比較については、現時点での詳細設計に含まれていないので、今後、検討していきたい。

(益田上下水道部長)

太陽光パネルを設置することで、光害の影響はないか。

(担当課 2 : 大塚教育総務課長補佐)

実施設計の中で確認させていただく。

(斎藤監査委員事務局長)

ピロティに車を駐車できるスペースがあったが、増築により利用できなくなるため、別の場所に駐車場を設置する予定はあるか。

(担当課 2 : 大塚教育総務課長補佐)

ピロティについては、駐車場として常時使用している場所という認識ではないため、増築に伴い、新たに駐車場を設置する予定はない。

(斎藤監査委員事務局長)

多目的室を2室に分けて、教室に転用することは可能か。

(担当課 2 : 大塚教育総務課長補佐)

多目的室を2室に分けた場合、面積が60平米を下回るなので、普通教室に転用するのは難しいと考える。

#### 【結果】

原案のとおり庁議に諮ることとする。

#### 【閉会】